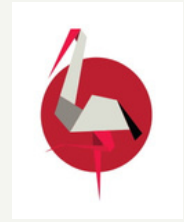


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年12月20日 / Vol. 032



12月12日(月)～12月18日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援



食材支援に参加している方から、ポーランド支部スタッフ全員に手作りのオーナメントを頂いた。
オーナメントには一つ一つ手書きでイラストが描かれ、ARIGATOUと添えられていた。

ご支援総額

2022年12月15日までの寄付総額 108,486,843 円

寄付金使用総額 2970752.02 zł (約8615万円)

12/12(月)～12/18(日)の期間中の寄附金使用額
28928.50 zł (約84万円)



活動内容

支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

カリタス支援所のスタッフによると、クリスマスに向けて一時的にウクライナに帰国する避難民が増えている一方で、インフラ設備が破壊された都市から冬を越すために逃れてきた人の姿が目立つようになったという。



レストランプロジェクト

市内レストラン3店舗と協力し、無料で温かい食事を提供。

クリスマスに向けて、ウクライナのクリスマス料理 vareniki (ヴァレーニキ) の準備をしている参加レストランもある。ヴァレーニキは日本の餃子のようなもので、ポーランドではピエロギと呼ばれている。



食材支援 (毎週金曜日)

27家族に1週間分の昼食用食材を提供。一人あたり50złの予算を設け、合計で4136,75 zł (約124,000円)分の食材を購入。

参加家族から福田会ボランティアスタッフへ、手作りのクリスマスオーナメントや、ビーズアクセサリーを頂いた。

「ボランティアスタッフの皆さんと、日本の支援者の皆さんへ、少しでも感謝の気持ちが伝わると嬉しいです。」と話してくれた。





現地の動向

クラクフでは連日雪が降り、気温はマイナス10度台を記録している。

この積雪により、週に1度の食材支援では、いつもベビーカーを押して子どもを連れている母親や、車イスの祖母を連れている父親は、「この雪ではとても連れて来られない。」と話をしていた。

「ウクライナでも同じように積雪するが、ポーランドはウクライナ以上に寒く感じる。」と話す避難民の姿もあった。



市内各地で開催されている無料のクリスマスコンサートでは、今年はウクライナのクリスマスソングを耳にする機会が増えた。

無料のため、避難民も気軽に参加することができ、良い気分転換となっている。

